

## 平成 30 年度 府中市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和元年 5 月

府中市（東京都）

### ○計画期間:平成28年7月～平成34年3月(5年9月)

#### I. 中心市街地全体に係る評価

##### 1. 平成 30 年度終了時点(平成 31 年3月 31 日時点)の中心市街地の概況

認定府中市中心市街地活性化基本計画は、3年目の事業年度を迎え、概ね計画通り各事業を展開している。

ハード事業のうち、新庁舎建設事業については、平成 29 年度末に実施設計がまとめられたことを受け、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めている。北庁舎周辺については完了し、現在、西庁舎周辺を調査中である。また、国史跡武蔵国府跡国司館地区保存活用事業については、平成 30 年 11 月に第 1 期工事の仕上げとして、10 分の 1 スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景を VR で再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。

ソフト事業では、平成 28 年 12 月に設立した「一般社団法人まちづくり府中」の事業が進展している。各種事業（者）との連携による新たな価値や効果を生み出すエリアイベント事業として「キテキテ府中マルシェ」や、中心市街地のイベントを包括的に PR する「府中まちなかフェスタ」、ラグビーワールドカップ 2019 の開催などを見据え、本市を訪れる方を迎える「おもてなしライトアップ」などを実施したほか、商業活性化事業として、府中駅周辺の大規模商業施設との連絡会議を定期的開催しつつ、期間を合わせた合同セールとイベントを組み合わせた「キテキテ府中」及び中心市街地の商店の方が講師となって、プロならではの知識や知恵を伝え、お店のファン作りにつなげる「むさし府中まちゼミ」も開催した。また、東京競馬場来場者を中心に市内店舗の利用を促す「府中クーポン&スタンプラリー2018」や、中心市街地内の回遊性を高めるための商店会イベントとの連携事業を実施した。一般社団法人まちづくり府中の取り組みについては、着実に市民にも認識されてきており、各事業の実施に係る協力者も増加傾向にある。

ただし、当該法人については、昨年と同様に安定した収益事業の確立が課題となっている。また、令和元年度中には、府中駅周辺における商業施設の編成に変更が生じる見込みがあることから、本市中心市街地の活性化に向けた目標に対する影響が懸念されるが、関係者との連携強化を図りながら、目標の達成に向けた事業展開を目指す。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地地区)	平成27年度 (計画前年度)	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	平成30年度(3年目)
人口	15,193人	15,331人	15,692人	16,141人
人口増減数	294人	138人	361人	449人
自然増減数	69人	76人	62	55
社会増減数	225人	62人	299	394
転入者数	1,160人	1,041人	1,052人	1,241人

**2. 平成30年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

府中市中心市街地活性化基本計画に基づく平成30年度の取組として、特にソフト面において、中心市街地のエリアマネジメント組織として設立された一般社団法人まちづくり府中が関係団体と連携し、にぎわいの創出に向けた事業を本格的に開始した年度であり、今後ますますその活動の重要性は高まることと期待される。

一方で、近隣市における再開発事業や大規模開発が進み、厳しさの増す都市間競争の中で、府中市の経済活力が低下していくことに対する懸念は引き続き残っており、本年9月の伊勢丹府中店の閉店後の展開次第では、計画の目標達成のためには一層の努力が関係機関に求められる。

そのような中、今後の活性化に向けて、計画に掲載されているものではないが、まずは本年開催される「ラグビーワールドカップ2019」を市内来訪者の増加と活性化の絶好の機会と捉え、府中市及び一般社団法人まちづくり府中、更には各店舗や商店会、関係団体が一丸となって取り組んでいくことが重要である。その上で、日々刻々と変化する社会及び周辺状況、市民や来訪者のニーズに対応していくためにも、計画に記載された事業を着実に遂行するだけでなく、既存事業の見直しや新たな事業実施によって府中の魅力を創出するという視点を持ち、活性化に取り組んでいくことも肝要である。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
経済活力の向上 (商業の活性化)	大規模商業施設 年間販売額 (億円/年度)	339億円 (H26)	370億円 (H33)	350億円 (H29)	B	①	①
	(参考指標) 空き店舗数 (店舗/年度)	61店舗 (H27)	—	54店舗 (H30)	—	—	—
回遊性の創出 (地域資源の活用)	東京競馬場タイアップ 年間利用組数 (組/年度)	104組 (H27)	16,000組 (H33)	2,263組 (H30)	B	①	①
	(参考指標) 休日の歩行者交通量 (人/日)	19,378人 (H27)	—	26,232人 (H30)	—	—	—
市民交流の増進 (都市機能の増進)	公共施設年間利用者数 (人/年)	378,455人 (H27)	400,000人 (H33)	1,194,651人 (H30)	A	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### (1) 大規模商業施設年間販売額

平成29年7月にル・シーニュが開業したことにより、前年度比で約50億円の増額となった。現状は、目標値には達していないものの、基準値を超える結果となっている。一方で、本年秋の伊勢丹府中店閉店に伴う府中駅周辺商業施設の変化に関しては市としては動向を注視しつつも、今後の新たな商業展開が予定されていることや、一般社団法人まちづくり府中が中心となり手掛ける各施設間の回遊及び消費活動を活性化させるための「キテキテ府中」、「むさし府中まちゼミ」、「キテキテ府中マルシェ」、「竹あかりおもてなしライトアップ」といったソフト事業が充実することなどにより、目標達成は可能であると考えられる。

(2) 東京競馬場タイアップ利用組数

平成 30 年度は秋の東京競馬開催期間にしぼって期間を設定し、実施したが、今後は春の東京競馬開催期間も実施することによって、利用組数の増加が期待される。

また、実施内容についても、実施の都度見直しを行いながら、より良いものとしていくことによって、目標達成は可能であると考えている。

(3) 公共施設年間利用者数

平成 29 年 7 月にオープンした「府中市市民活動センター」及び「府中の森芸術劇場分館」共に駅前立地という環境を活かし、認知度が高まっており、大幅な利用者増につながっていることから、目標達成は可能であると考えている。

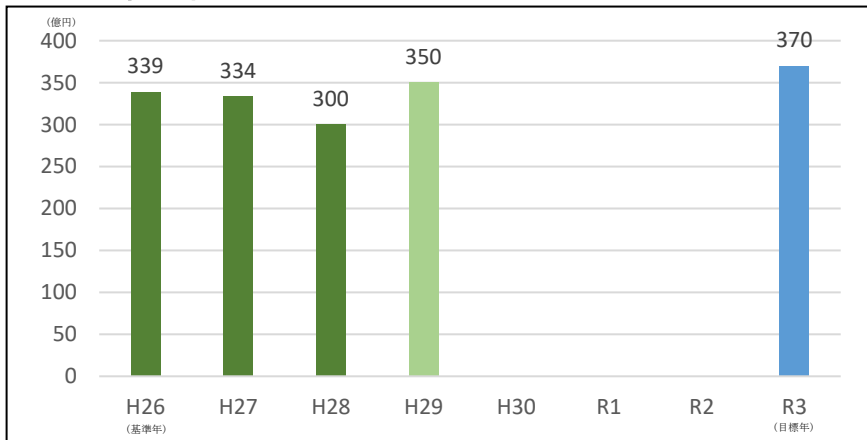
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更はない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「大規模商業施設年間販売額」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 65 参照

●調査結果の推移



年度	億円
H26	339 (基準年値)
H27	334
H28	300
H29	350
H30	
R1	
R2	
R3	370 (目標値)

※調査方法： 事業者に対するヒアリング調査

※調査月： 平成 31 年 3 月

※調査主体： 府中市

※調査対象： 伊勢丹・フォーリス、くるる、ル・シーニュの年間販売額

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	府中駅周辺大規模商業施設の合同セールをコーディネートしたほか、個店向けには、市内で初となる「むさし府中まちゼミ」を開催

	し、商業の活性化に係る各種事業を展開した。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業（専門人材活用支援事業）（経産省）（平成 29 年度～平成 30 年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】
事業効果及び進捗状況	これまで個別に開催してきた大規模商業施設のセールについて、一般社団法人まちづくり府中がコーディネーター役として間に立つことで、大規模商業施設間を効果的に回遊していただくことができた。また、個店のファンづくりを目的としたコミュニケーション事業「むさし府中まちゼミ」の実施により、店主とお客様の信頼関係構築につながり、中心市街地における商業の活性化に寄与した。
事業の今後について	ル・シーニュが平成 29 年 7 月に開業を迎えたことにより、昨年度比で約 50 億円の増加となり、基準値を上回ったが、令和元年度中には、府中駅周辺における商業施設の編成に変更が生じる見込みがあることから、本市中心市街地の活性化に向けた目標に対する影響が懸念される。そのため、これまで以上に関係者との連携強化を図りながら、目標の達成に向けた事業展開を目指す。

②. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業（府中駅南口第一地区市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 15 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地における都市機能の増進を図ることを目的として、商業施設、市民交流施設、住宅等を整備することにより、まちなか居住及びにぎわいの創出並びに経済活力の向上に寄与するとともに、中心市街地の魅力を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	・防災・安全交付金（市街地再開発事業等）（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度） ・防災・安全交付金（道路事業（街路））（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 7 月に本施設が開業を迎えたことにより、大規模商業施設の年間販売額は前年度比で約 50 億円の増加に転じたほか、休日のけやき並木通りの歩行者交通量も 1,000 人/日増加するなど、中心市街地への来訪者の増加やにぎわいの創出に好影響を与えた。
事業の今後について	今後も、一般社団法人まちづくり府中など、関係団体と適宜協力を図りながら、エリアの価値向上に努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

ル・シーニュの開業などにより、前年度比で約 50 億円の増加となり、基準値は超えた

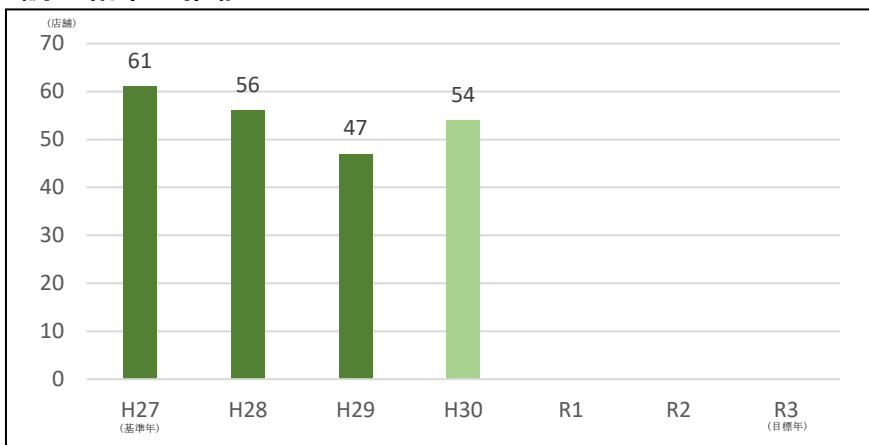
ものの、目標値の達成には至っていない。

しかし、一般社団法人まちづくり府中の設立以降、これまでにはなかった大規模商業施設間の連携や情報の共有が図られるようになり、エリアマネジメントの取組が根付き、連携の効果が徐々に表れ始めてきている。

令和元年度中には、府中駅周辺の商業環境に大きな変化が生じることから、より一層、地域の一体感を高め、一般社団法人まちづくり府中を中心としたエリアマネジメントに係る取り組みを最大限後押ししていく必要がある。

「空き店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 65 参照

●調査結果の推移



年度	店舗
H27	61 (基準年値)
H28	56
H29	47
H30	54
R1	
R2	
R3	— (目標値)

※調査方法：委託事業者による現地調査

※調査月：平成31年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：中心市街地内に存在する空き店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 創業支援事業（むさし府中商工会議所、一般社団法人まちづくり府中）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	むさし府中商工会議所が実施している創業希望者に向けたセミナーに加え、一般社団法人まちづくり府中が創業希望者と店舗オーナーのマッチングを行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し 【認定基本計画：地域・まちなか商業活性化支援事業（中心市街地最高戦略事業）のうち先導的・実証的事業（経産省）（平成29年度～令和3年度）】
事業効果及び進捗状況	中心市街地内に存在する一般社団法人まちづくり府中が実証実験として実施したチャレンジショップの運営に際し、むさし府中商工

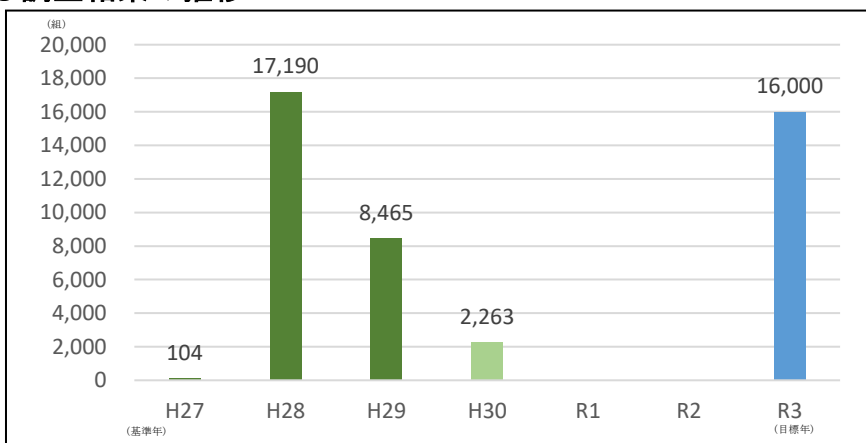
	会議所が開催する「創業塾」を受講された方に出店いただいた。そのうち、1名については、中心市街地内での出店につなげることができた。
事業の今後について	むさし府中商工会議所の「創業塾」については、引き続き実施をしていく。 中心市街地活性化基本計画の認定後からこれまで、空き店舗数は減少傾向にあることから、創業希望者と店舗オーナーのマッチングについては、今後の動向を注視しながら、必要に応じて実施する。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

空き店舗数については、中心市街地活性化基本計画の認定後、概ね減少傾向にある。参考指標のため、目標値の設定は行っていないものの、むさし府中商工会議所等が実施する創業希望者向けのセミナー等の効果を把握すべく、毎年度の調査の中で動向を注視し、減少させていくことに努める。

「東京競馬場タイアップ利用組数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 68 参照

### ●調査結果の推移



年度	組
H27	104 (基準年値)
H28	17,190
H29	8,465
H30	2,263
R1	
R2	
R3	16,000 (目標値)

※調査方法：委託事業者からの報告

※調査月：平成31年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：「府中クーポン&スタンプラリー2018」参加者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	市の委託事業により、市内飲食店をお得に利用しながら、スタンプを集めてプレゼントに応募できる「府中クーポン&スタンプラリー」（デジタル方式）及びスマートフォンをお持ちでない方でも参加可能な「わくわく！運試しキャンペーン」を実施した。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業（専門人材活用支援事業）（経産省）（平成 29 年度～平成 30 年度） 地方創生加速化交付金（内閣府）（平成 28 年度） 地方創生推進交付金（内閣府）（平成 29 年度～平成 30 年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 ※地方創生加速化交付金（内閣府）（平成 28 年度）については、「東京競馬場タイアップ事業」に位置付け。
事業効果及び進捗状況	前年度はスマートフォンやタブレットをお持ちでないと参加することができなかったことを踏まえ、アナログ方式も採用したが、協力店舗の負担を軽減するべく、実施期間を短くしたことなども影響し、前年度をさらに下回る結果となった。
事業の今後について	これまで、本事業は、秋競馬開催時期の年 1 回のみ実施していたが、さらに多くの方が訪れる春競馬開催時期で事業を実施した場合の利用者動向の状況なども把握し、計画期間中の目標値達成に向けた効果的な事業の実施方法の検討を行う。

②. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成 28 年度～平成 31 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 11 月に第 1 期工事の仕上げとして、10 分の 1 スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景を VR で再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。



事業の今後について	2期工事としてにぎわい施設（仮称）を整備し、「日本一JRの駅に近い史跡」という立地環境を生かし、にぎわいと魅力あふれる空間の創出を目指す。
-----------	---

### ③. 新庁舎建設事業（府中市）

事業実施期間	平成 21 年度～平成33 年度【実施中】
事業概要	現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度末に実施設計がまとめられたことを受け、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めている。北庁舎周辺については完了し、現在、西庁舎周辺を調査中である。
事業の今後について	施工区域内の埋蔵文化財調査を経て、おもやの建設、既存庁舎の解体、はなれの建設、外構整備を行っていく。

#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

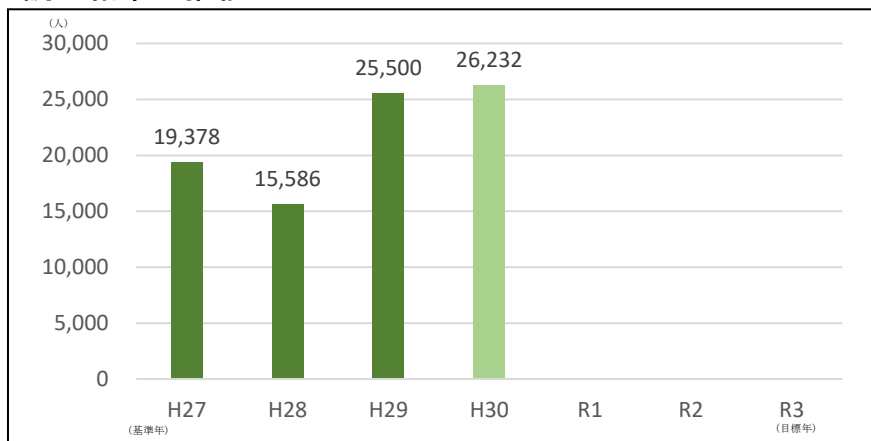
前年度は、QRコードを活用したスタンプラリー方式を採ったことにより、スマートフォンやタブレットをお持ちでない方は参加できなかったため、利用促進の妨げになったと分析をした。

これを受け、スマートフォン等をお持ちでない主に高齢者の方々を取り込むべく、勝ち馬投票券と本キャンペーンのアンケート用紙を観光情報センターにお持ちいただくと、協力店で使用できる金券が当たる「わくわく！運試しキャンペーン」も並行して実施したが、目標達成には至らなかった。

しかし、これまでの実施結果をもとに、本キャンペーンの実施期間やPR方法などの再検討を行うことで、目標の達成は可能であると考えます。

「休日の歩行者交通量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 68 参照

●調査結果の推移



年度	人
H27	19,378 (基準年値)
H28	15,586
H29	25,500
H30	26,232
R1	
R2	
R3	— (目標値)

※調査方法：委託事業者からの報告

※調査月：平成30年10月

※調査主体：府中市

※調査対象：休日のけやき並木歩行者（7時～19時）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	市の委託事業により、「府中クーポン&スタンプラリー2018」のほか、「キテキテ府中マルシェ」「おもてなしライトアップ」などを実施し、来街者の増加を図り、中心市街地内を回遊していただく、仕掛けづくりを行った。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業（専門人材活用支援事業）（経産省）（平成29年度～平成30年度） 地方創生加速化交付金（内閣府）（平成28年度） 地方創生推進交付金（内閣府）（平成29年度～平成30年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 ※地方創生加速化交付金（内閣府）（平成28年度）については、「東京競馬場タイアップ事業」に位置付け。
事業効果及び進捗状況	東京競馬場タイアップ年間利用組数については、目標の達成に向け、改善が必要であるが、そのほかにも、市では一般社団法人まちづくり府中と協力し、中心市街地における回遊性の創出に向けた各種事業を展開しており、それらの効果が参考指標である「休日の歩行者交通量」の増加に寄与しているものと推測している。

事業の今後について	東京競馬場とのタイアップ事業については、これまで、秋競馬開催時期の年1回のみ実施していたが、さらに多くの方が訪れる春競馬開催時期で事業を実施した場合の利用者動向の状況なども把握し、計画期間中の目標値達成に向けた効果的な事業の実施方法の検討を行う。
-----------	---

### ②. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

事業実施期間	平成23年度～【実施中】
事業概要	国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成28年度～平成31年度）
事業効果及び進捗状況	平成30年11月に第1期工事の仕上げとして、10分の1スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景をVRで再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。
事業の今後について	2期工事としてにぎわい施設（仮称）を整備し、「日本ーJRの駅に近い史跡」という立地環境を生かし、にぎわいと魅力あふれる空間の創出を目指す。

### ③. 新庁舎建設事業（府中市）

事業実施期間	平成21年度～平成33年度【実施中】
事業概要	現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成28年度～平成29年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】
事業効果及び進捗状況	平成29年度末に実施設計がまとめられたことを受け、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めている。北庁舎周辺については完了し、現在、西庁舎周辺を調査中である。
事業の今後について	施工区域内の埋蔵文化財調査を経て、おもやの建設、既存庁舎の解体、はなれの建設、外構整備を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

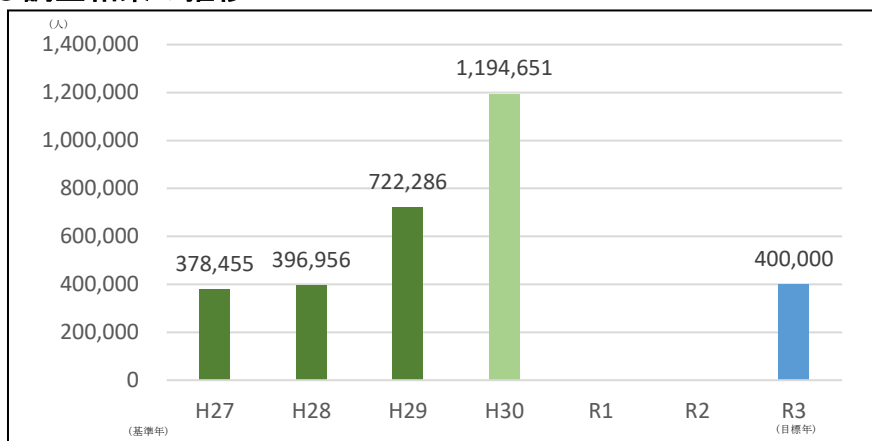
ハード事業の進捗に遅れが生じており、かつ、東京競馬場タイアップ利用組数の目標達成に向けては、実施方法の見直し等、改善が必要であるが、休日の歩行者交通量については、一貫して増加傾向にある。

これには、ル・シーニュの開業や、一般社団法人まちづくり府中によるエリアマネジメントの推進等の影響があるものと推測される。

参考指標であることから、目標値は設定していないものの、この増加傾向が維持できるよう努めていく。

「公共施設の年間利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 69～P. 70 参照

●調査結果の推移



年度	人
H27	378,455 (基準年値)
H28	396,956
H29	722,286
H30	1,194,651
R1	
R2	
R3	400,000 (目標値)

※調査方法：担当課へのヒアリング

※調査月：平成31年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：市立ふるさと府中歴史館、府中市市民活動センター、府中の森芸術劇場分館の利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業【市民活動拠点施設及び音楽練習施設整備事業】（府中市）

事業実施期間	平成28年度～平成29年度【済】
事業概要	府中駅南口第一地区市街地再開発組合により整備された再開発ビルの地上5・6階の市民活動センター及び地下2階の府中の森芸術劇場分館（音楽練習室）を購入した。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成29年度）

事業効果及び進捗状況	府中駅直結という利便性の高さを生かし、市民活動センター（約 80 万人増）、府中の森芸術劇場分館（約 2 万人増）ともに前年よりも利用者が増加し、市民活動や市民交流の活性化及び市民文化活動の振興に寄与した。
事業の今後について	まだ開業して 2 年弱であるものの、本施設の認知度は高く、幅広いお客様にご利用いただけている。 今後も、各種イベント事業などで本施設の PR を継続し、利用者数の増加に努める。

## ②. 新庁舎建設事業（府中市）

事業実施期間	平成 21 年度～平成 33 年度【実施中】
事業概要	現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度末に実施設計がまとめられたことを受け、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めている。北庁舎周辺については完了し、現在、西庁舎周辺を調査中である。
事業の今後について	施工区域内の埋蔵文化財調査を経て、おもやの建設、既存庁舎の解体、はなれの建設、外構整備を行っていく。

## ③. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成 28 年度～平成 31 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 11 月に第 1 期工事の仕上げとして、10 分の 1 スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景を VR で再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」とし

	てグランドオープンを迎えた。
事業の今後について	2期工事としてにぎわい施設（仮称）を整備し、「日本一JRの駅に近い史跡」という立地環境を生かし、にぎわいと魅力あふれる空間の創出を目指す。

**●目標達成の見通し及び今後の対策**

平成 29 年度末をもって、会議室や音楽練習室などを備えた「府中グリーンプラザ」が閉館を迎えたことに伴い、本指標への影響が懸念されたが、市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館の利用者が安定的に増加しており、平成 30 年の利用者数も目標値超えることができた。

今後も、各種イベントやセミナー等、本施設のPRにつながる取り組みを推進していくことで、目標達成は可能であると考えている。